



福島県立梁川高等学校
令和元年5月23日
校長だより
知性 誠実 責任
第 13 号

■ 梁川高校の約束その3

令和元年度「学校経営・運営ビジョン」から

【重点努力目標】

- ① 生徒一人ひとりを大切にし、社会的・職業的自立に必要な基礎的・汎用的能力の向上を図ります。
- ② 希望する進路の100%達成を目指します。
- ③ 「知・徳・体」の調和のとれた社会に貢献できる人材を育成します。
- ④ 地域から信頼され、「梁川高校で学んでよかった」と生徒が言える学校を目指します。

《重点事項3 人間性・社会性の育成》

- (1) 「あいさつ・身だしなみ・言葉づかい」をはじめ、基本的な生活習慣を確立させる指導を展開します。
- (2) 部活動の参加率を高め、活性化を図ります。

* 各部活動部員数

〔運動部〕

陸上競技部	男子	3名	女子	0名
ソフトテニス部	男子	8名	女子	0名
野球部	男子	6名	女子	0名
弓道部	男子	8名	女子	5名
バスケットボール部	男子	10名	女子	4名

〔文化部〕

華道部	男子	8名	女子	10名
美術部	男子	0名	女子	2名
音楽部	男子	1名	女子	14名



- (3) いじめや問題行動の未然防止・早期発見に向けた取組を推進します。

* いじめに関するアンケート

本校では、平成26年に施行された「いじめ防止対策推進法」を踏まえ、「いじめ防止基本方針」を策定し、いじめ根絶に向けて教育活動を行っています。その一環として

定期的に「いじめに関するアンケート」を生徒対象と保護者対象に実施しますので、ご協力をお願いします。

- (4) 心身の健康の維持増進を図ります。
- (5) 教育活動全体において道徳教育や政治的教養を育む教育を推進します。

* 主権者教育を行います

主権者教育とは、社会で起きている出来事について自ら考え、主体的に行動できる人間を育成するための教育です。また、若者が有権者として政治に参加するための政治的教養を育成することです。2016年に選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられたことから、日本でもその必要性が叫ばれるようになりました。

* 租税教室を実施します

次代を担う生徒が、租税の意義や役割を正しく理解し、社会の構成員として税金を納め、その使い道に関心を持ち、さらには納税者として社会や国の在り方を主体的に考えるという自覚を育てることを目的に実施します。

- (6) 各種行事に積極的に取り組み、コミュニケーション能力の向上を図ります。
- (7) 清掃の徹底を図り、学校生活環境を整えます。
- (8) 読書の奨励により、豊かな心を育みます。
- (9) 生徒会・委員会活動の活性化を図ります。



<先生方の取り組み>

- 毎日の授業や朝の登校指導を通して、あいさつ・身だしなみ・言葉づかいなどについて積極的に声かけを行う。
- SHR や LHR などの機会を生かし、適時的に規範意識についての語りかけを行う。
- LHR や行事などを学習意欲や共同意識を高める機会として活用する。
- 生徒の自主性を尊重し、その中でよりよくなるようなアドバイスができるようにする。
- 生徒が主体的に行事や活動に参加できるように常に目を配り、積極的な声かけをする。
- 休み時間や放課後をうまく活用し、生徒と触れ合う時間を多く持つようにする。朝の登校指導や校内巡視での声かけ等を通して生徒が安心して学校生活を送ることができる環境を整える。
- 校内・校外美化などのボランティア活動を計画し、地域の方との人間的な触れ合いの場を多く設定する。
- 学校生活のいたる場所で、あいさつ、服装、学習環境の整備など当たり前のことを当たり前に行うように指導する。
- 登校指導、授業、清掃、部活動などで生徒と積極的にコミュニケーションをとる。
- 挨拶など自分から積極的に声をかけ、生徒の状況や個性を理解して接する。
- できるだけ多くの生徒に数多く声かけを行い、生徒の微妙な変化を逃さないようにする。